

桃核承気湯は、「傷寒論」に収録されている、月経不順、月経困難、常習便秘、高血圧症、更年期の神経症に用いられる漢方薬です。

#### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください  
他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください
  - (1) 医師の治療を受けている人。
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3) 体が虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
  - (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
  - (5) 高齢者。
  - (6) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
  - (7) 次の症状のある人。  
むくみ
  - (8) 次の診断を受けた人。  
高血圧、心臓病、腎臓病
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください
  - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。

- (2) 1カ月位（便秘に服用する場合は5～6日間）服用しても症状がよくならない場合

3. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談してください
4. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください  
下痢
5. 本剤の服用により、予期しない出血があらわれた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください

#### 効能・効果

比較的頑丈な体質者で、のぼせや冷えがあり便秘がちのもの  
月経不順、月経困難、常習便秘、高血圧症、更年期の神経症

#### 成分と分量

1包（大人1日量）中に次の成分を含んでいます。

成 分	トウニン	ケイヒ	カンゾウ	硫酸マグネシウム	ダイオウ
分 量	4.0g	2.0g	2.0g	2.0g	0.5g

#### 用法・用量

本品1包を和紙袋入りのまま、水約500mLを加えて、半量くらいまで煎じつめ、和紙袋とともに煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用してください。  
上記は大人の1日量です。

年 齢	大人（15才以上）	14才～7才	6才～4才	4才未満
服用量	上記の通り	大人の2/3	大人の1/2	服用しないこと
1日服用回数	3回			

#### <用法・用量に関連する注意>

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこしてください。
- (4) 本剤は必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないでください。

#### 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- (4) 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用してください。
- (5) 生薬を原料として製造しているため、製品の色や味等に多少の差異を生じることがあります。